

栗東ロータリークラブ

創立 1984年(昭和59年)5月20日

2026-2027年度 第2650地区スローガン 「新しい扉を開く」

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Vol. 44 No.1

第1896回 例会

2026年7月2日(木)

12:30 開会・点鐘

国歌・ロータリーソング 斉唱
「奉仕の理想・四つのテスト」

ご来客紹介
食事

会長の時間 会長 安田 昌生
「会長メッセージ」

会務報告 幹事 木村 良一郎
委員会報告 各委員長

例会プログラム

理事・役員・各委員長 就任挨拶
ニコニコ箱

13:30 閉会点鐘

本日の受付 田村幸治君 寺村博生君

7月誕生日祝

塚田耕司君 7月4日 清水 修君 7月6日
長谷茂徳君 7月8日 角 圭介君 7月11日
清水 憲君 7月15日 澤田祐次君 7月17日

7月結婚記念日

永田竜太郎君 7月6日 吉本 智君 7月7日
木村良一郎君 7月8日 長谷茂徳君 7月19日
寺村博生君 7月28日

会員紹介



定款・細則



2026~2027年度 栗東ロータリークラブテーマ
『 つながりを深め、
行動につなげるロータリー 』

2026~2027年度
会長 安田 昌生
会長所信



2026~2027年度、栗東ロータリークラブ第43代会長を拝命いたしました安田昌生でございます。入会7年と経験も浅く、身の引き締まる思いではございますが、先輩諸兄姉が築いてこられた数々の実績と信頼に深く敬意と感謝を申し上げます。その上に本年度のクラブ運営をお預かりする責任の重さを感じております。

栗東ロータリークラブは、第四次中期計画のもと、ロータリアンとしての品位と品格を大切に、「奉仕と親睦」を実践することで地域社会に貢献してまいりました。

そして今後は、2年後に控える南ガバナ一年度ならびにクラブ創立45周年という大きな節目に向け、さらなる組織力の強化が求められております。そのため本年度は、多くの会員が例会や委員会活動に積極的に参加しやすい環境づくりに努めるとともに、会員相互のつながりを深め、次代を担う人材の育成につながるクラブ運営を推進してまいります。また、一人ひとりが役割と責任を分かち合いながら、活力と魅力あるクラブづくりを目指してまいります。

2026~2027年度の国際ロータリーは「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼びかけています。さらに第2650地区平野洋一ガバナは、「新しい扉を開く」を基本方針に掲げ、会員増強を単なる数値目標ではなく、クラブと地区の成長および人材育成を両輪とした「仕組みづくり」として捉えることの重要性を示されています。こうした方針を踏まえ、当クラブでは本年度のテーマを「つながりを深め、行動につなげるロータリー」と決めました。近年、会員増強の取り組みにより当クラブは60名規模へと安定してまいりました。<次頁に続く>

〈前面より続く〉

今後はその基盤の上に、クラブ内のつながりをさらに深めるとともに、地区活動への積極的な参加を通じて、より充実したロータリー活動を展開してまいります。ロータリー活動は、会員一人ひとりの理解と協力によってこそ実りあるものとなります。皆様のお力をお借りしながら、「参加してよかった」「誇りに思える」クラブを共に築いてまいりたいと存じます。

結びに、本年度が会員の皆様にとって実り多き一年となり、栗東ロータリークラブにとって新たな一歩となりますことを祈念申し上げ、所信表明といたします。

重点目標

1. 次世代を担う会員の育成を図るとともに、会員一人ひとりがロータリーの魅力を実感できるクラブづくりを進め、会員の維持・増強を推進します。
2. 例会内容のさらなる充実を図り、学びと交流を深める場として、参加したくなる魅力ある例会運営を目指します。
3. 委員会活動においては、会員相互の連携と協力を深め、全員が主体的に関わる「全員参加型」の運営体制を構築します。
4. 地域社会のニーズを的確に捉え、継続性と実効性を重視した持続可能な奉仕活動を実践してまいります。

栗東市中学生部活動サポーターズクラブ立ち上げ

記者会見 6月23日(火) 栗東市役所にて



国際ロータリー第2650地区
2026-27年度ガバナ

平野 洋一ガバナ

〈2026-27年度地区基本方針〉 「新しい扉を開く」
— 成長と持続のバランスをととのえる一年に —
第2650地区では、これまでの各年度において、クラブの主体性を重んじながら、会員増強とクラブ活性化に向けた多様な取り組みを積み重ねてきました。その成果として、クラブ運営における学びの場や、地区活動への参加機会が着実に広がっています。小崎年度の2025-26年度においては、ロータリー財団、米山奨学会、ロータリー希望の風奨学金への支援を通じ、ロータリーの国際的使命と社会的責任を改めて強く認識する一年となりました。財団の仕組みを理解し、単に寄付を募るのではなく、地区補助金やグローバル補助金、ポリオ根絶活動といった具体的なプログラムを活用しながら、より充実した奉仕活動を展開することの重要性が示されました。これは、「支援する」という行為を通じて、ロータリーが世界と地域を結ぶ組織であることを再確認する機会でもありました。とりわけポリオ根絶については、パキスタンやアフガニスタンでの現場活動の実情を知ることにより、その使命の重みを共有し、世界ポリオデー(10月24日)への各クラブ独自の参加を呼びかけるなど、単なる寄付目標の達成にとどまらない「理解と共感の深化」が図られました。一方で、人口構造の変化や社会環境の多様化により、会員層の高齢化、後継者育成、地域間での活動格差など、地区として新たに対応すべき課題も見えてきました。これらの課題に対し、従来の取り組みをさらに発展させ、より持続的で実効性のある「地区とクラブの循環型成長モデル」を構築することが必要であります。2026-27年度では、会員増強を単なる数値目標ではなく、地区とクラブの成長および人材育成を両輪とした「仕組みづくり」として位置付け、各クラブと地区委員会が相互に学び合い、支え合う体制を強化します。すなわち、「参加するほど面白さが分かる」ロータリーの魅力を実感できる環境を整え、会員一人ひとりが成長と貢献を実感できるような地区運営を目指します。ロータリーの根幹を成すのは「クラブの力」であり、その活力の源泉は会員一人ひとりの情熱とエネルギーです。2026-27年度は「新しい扉を開く」ために、次の3つの重点目標に全力で取り組みます。

- ① 地区活動への参加拡充と人材育成
- ② 会員増を図るとともに「強」を重要課題と位置付ける。(辞めないロータリー)
- ③ 地区財政の健全化と小規模クラブへの支援と負担軽減

例会出席報告 1895回 6/25

会員数	当日出席	MU	出席総数	出席率
63名	46	4	50	81.97
内免除会員2名				

2026~2027年度 理事・役員 会長(理事) 安田 昌生 副会長兼クラブ奉仕兼会長エレクト(理事) 南 新介
直前会長(理事) 角 圭介 職業奉仕(理事) 田村 幸治 社会奉仕(理事) 田口 信雄 青少年奉仕(理事) 木下 兼一
国際奉仕(理事) 猪飼 英男 財団・米山(理事) 萩野美智子 親睦活動(理事) 奥村 忠宏 幹事(理事) 木村良一郎
会計(理事) 加藤 雅也 S.A.A(理事) 材井 隆弘

例会: 毎週木曜日 12:30~13:30 例会場: 栗東市商工会館3階研修室C

事務局: 滋賀県栗東市手原3丁目1番25号 栗東市商工会館2階

TEL: 077-553-7178 FAX: 077-553-0820 HP:rid2650-pub.com/ritto/ E-mail:ritto-rc@air.ocn.ne.jp

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する

- 1 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4 ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。